

2007.11.3

作曲家達の関係

シューマン～ブラームス～ブルックナー

プログラム

それぞれの時代に生きた数々の作曲家達。シューマンはブラームスの才能を高く評価し、積極的に世に紹介しました。互いに意識し合いながらも、仲の悪かったブラームスとブルックナー。今回はそんな三人の作曲家達をシューマンを中心に特集します。特製ステレオでお楽しみ下さい。

ロベルト・シューマン (1810～1856) :

チェロ協奏曲イ短調 *op.129* ～ 抜粋

ジャクリーヌ・デュブレ (チェロ)

マルティン・トゥルノフスキー指揮北ドイツ放送交響楽団
(1970年代Live)

交響曲第4番ニ短調 *op.120* ～ 第1楽章、第2楽章～第4楽章抜粋

リッカルド・ムーティ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1993.5.24 ウィーン・コンツェルトハウス大ホールLive)

子供の情景 *op.15*～

第1曲“知らない国々”/第7曲“トロイメライ”

マルタ・アルゲリッチ (ピアノ)

(1983年録音 グラモフォン盤)

休憩

ヨハネス・ブラームス (1833～1897) :

ヴァイオリン協奏曲ニ長調 *op.77* ～ 抜粋

アンネ・ゾフィー・ムター (ヴァイオリン)

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1981.8.16 ザルツブルク祝祭大劇場Live)

アントン・ブルックナー (1824～1896) :

交響曲第7番ホ長調 ～ 第1楽章から 第2楽章から、第4楽章から

クリスティアン・ティーレマン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(2003.11.17 サントリーホールLive)